

# 東京2020大会福島市記録誌

*Thank You from Fukushima*



令和4年3月 福島市



# 東京2020大会福島市記録誌

---

*Thank You from Fukushima*



## 東京2020大会から新たな復興創生を



福島市長 木幡 浩

東京2020大会が幕を閉じて、半年が過ぎました。

コロナ禍の難しい環境の中で演じられたアスリートの最高のパフォーマンス、困難と限界を乗り越えようとするパラリンピアンのかっこいい姿が、今も感動とともに鮮やかに蘇ってきます。福島での勝利で発進したソフトボール・野球の金メダルは、特に私たちに勇気と希望を与えるものでした。

大会を盛り上げ支えていただいた選手、ボランティアはじめすべての大会関係の皆さまに、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

東京2020大会は、東日本大震災から10年という節目の年に、日本の復興を発信し前進させる「復興五輪」として開催されることになり、その象徴として、福島で野球・ソフトボールの試合の開催が決定されました。

私たちは、「復興五輪」に大いに期待しました。世界中から多くの観客をお迎えして復興へ歩む福島の姿を直接見ていただき、頂戴してきたご支援に感謝をお伝えするとともに、さらなる復興創生へのエネルギーとすべく、市民の皆さまとともに準備を進めました。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、大会は1年延期され、1年後も福島会場を含めた殆どの会場が無観客開催となり、関連イベントも多くが中止や縮小等に追い込まれました。

国内外からお客様をお迎えすることができず、思い描いていた「復興五輪」とならなかったのは痛恨の極みですが、それでも、おもてなしフェンスや美化活動、復興支援感謝動画の市中放映など、できる限りのおもてなしをしつらえ、支援への感謝と福島の現状、魅力の発信に精一杯取り組みました。

また、アメリカのソフトボール監督が、「福島の桃はデリシャス」と、福島への好印象とともに世界に発信してくれたことは、風評払拭への追い風と私たちへの励みとなりました。古関裕而氏作曲の「オリンピックマーチ」が57年の歳月を経て再びオリンピックの場に流れたことは、福島復興へのエールに感じられました。

一方、「復興五輪」を一過性にせず、今後の復興創生に生かすべく力を入れてきたのが、遺産（レガシー）づくりです。全国的に数少ない先導的共生社会ホストタウンへの認定など大会関連のプログラムを活用しながら、共生社会の形成、健康づくり、スポーツのまちづくり、賑わいのまちづくりに官民連携のオール福島で取り組み、大きく前進しました。2020ふくしま市民応援団など市民一体となっておもてなし活動を行ったことも、将来につながる心強い財産です。

東京2020大会の開催決定からの足取りや遺産づくりへの取り組みについて記録誌としてまとめました。

この大会を「復興五輪」として福島市の新たな復興創生に生かせるかどうかは私たち次第です。

今後も、この記録を振り返りながら、世界中からいただいた復興支援への感謝を胸に刻み、オリンピック開催都市というプライドをもってまちづくりを進め、「世界から支援をいただいていたまち」から「世界にエールを送るまち」を目指していきましょう。

東日本大震災からの復興支援と大会運営や本市の取り組みにご協力を賜りました全ての皆さまに改めて感謝申し上げます。

Thank You from Fukushima

# 東日本大震災から10年を迎えた 福島市でのオリンピック

2011年3月11日の東日本大震災から10年が経った2021年7月21日。  
福島あづま球場（福島県営あづま球場）では、東京2020オリンピックの開会式に先駆け、ソフトボールの第一試合が行われました。

猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年からの一年延期、無観客での開催となりましたが、「復興五輪」の象徴である福島での競技開催を、福島市民をはじめ、世界中がテレビの向こうから万感の思いを胸に見守りました。





# 福島から、そして金メダル

福島での初戦に勝利し、勢いに乗った野球・ソフトボール日本代表の金メダル獲得は、復興へ歩む福島にとって、夢や希望、大きな勇気となりました。



写真：松尾/アフロスポーツ



写真：長田洋平/アフロスポーツ



写真：UPI/アフロ



写真：青木紘二/アフロスポーツ



写真：USA TODAY Sports/ロイター/アフロ

## 東京2020大会のレガシーを未来へ

世界中からいただいた復興支援への感謝と野球・ソフトボール日本代表からのエールを心に刻み「世界にエールを送るまち」を目指し、これからも復興に向け歩み続けます。

# 目 次

東京2020大会から新たな復興創生を

東日本大震災から10年を迎えた福島市でのオリンピック

大会開催決定からの歩み……………2

東京2020大会の概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会概要 ……12

聖火リレー……………13

東京2020大会ダイジェスト ……16

新型コロナウイルス感染症による影響

新型コロナウイルス感染症が大会開催に与えた影響……………26

新型コロナウイルス感染症が本市の取り組みに与えた影響……………27

福島市ゆかりの選手たち

大会で活躍した福島市ゆかりの選手たち……………34

福島市アクション&レガシープラン

福島市アクション&レガシープラン……………38

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会福島市推進協議会の活動 ……39

野球・ソフトボール競技の開催……………42

事前合宿の誘致・受け入れ……………56

文化プログラムへの参画促進……………64

ホストタウン交流事業の推進……………71

大会機運の醸成……………88

市民参画 ～オール福島で大会を盛り上げる～……………106

オリンピック・パラリンピック教育推進事業

スポーツ庁「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 ……116

福島県教育委員会「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」 ……117

東京2020大会と遺産の創出 ……124